

令和元年度(平成30年度実績) 総合評価書 <施設名 発達支援センター ひまわり>

1. 指定管理者名	社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会
2. 指定期間	平成28年4月1日 ~ 令和3年3月31日
3. 業務の範囲	〈1〉 児童発達支援事業及び基本的動作指導、適応訓練、相談・検診・育成支援 心身に障害のある幼児に対し、通園の場を設け、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練、相談及び検診を行い、その育成を支援する。 〈2〉 施設及び設備の維持管理

4. 採点表								
評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(一点)	①施設の利用率 (利用時間/日数 × 営業時間)	施設の特性から評価対象外の項目				
			②利用人数	施設の特性から評価対象外の項目				
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(20点)		20	仕様書以上:20~16点、仕様書に忠実:15~12点、仕様書の一部不実施(軽微):11~9点、仕様書の一部不実施(中程度):8~4点、それ以下:3~0点	・別紙の事業評価表のとおり	仕様書以上 18点 日々の個人療育・グループ療育は適切に実施されている。前年の内容の見直しや工夫により、総じて前年の内容より充実した療育や事業が実施されている こまめな見直しを行い子ども一人ひとりに寄り添った療育を提供し、保護者についても細やかな配慮を行い不安の解消等に努めている。 保育所等訪問支援事業を開始し支援を充実させている。	18点
		(3)自主事業の企画・運営・実施(20点)		20	内容・事業数等が期待以上:20~16点、内容・事業数等が例年通り:15~12点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:11~9点、内容・事業数等が例年より劣る:8~4点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る:3~0点	・別紙の事業評価表のとおり	内容・事業数等が期待以上 18点 日常の療育活動に加えて、個別の専門性の高い分野での相談や指導に取り組んでおり、有意義な事業展開が図られている。 家庭の事情等に配慮し寄り添った支援が実施できている。児童館及び関係機関とも連携できており、幅広い支援体制の構築に取り組んでいる。 イベントを介した地域との交流も継続的に行っており、施設の役割や必要性について、理解を深めてもらえるよう努めている。 各種会議・研修会・研究会に参加し職員の資質向上に努めている。	18点

評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
2	施設管理 状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	・職員によるセンター内の清掃 毎日 ・シルバー人材センターによる館内清掃 週3日 ・床面ワックスがけ 年1回(3/22)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
					・電気設備点検を年3回実施(5/28、9/25、2/15) ・職員による遊具の点検を週2回(月・金曜日)実施 ・業者による遊具の超音波保守点検を年2回実施(6/26、3/19)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
					・消防用設備等点検・外観及び機能点検を年2回実施(10/10、1/23) ・消防訓練を年2回実施(6/28、3/12)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
					①網戸張替え 7,344円 ②散水栓修繕 30,208円 ③ブレーカー取り換え工事等 54,000円 ④誘導灯取り換え工事 29,900円 ⑤ホール空調機修繕 34,560円 ⑥エアコンドレーンホース清掃 4,320円 ⑦防犯灯取り換え工事 36,450円 ⑧トイレ修繕 8,640円 ⑨遊戯室修繕(床)27,000円 ⑩雨樋修繕 24,246円 ⑪遊戯室窓・壁修繕 28,080円 計 284,748円 10万円未満のため仕様書の定めより指定管理者が負担。	適正(普通) 2点	修繕箇所が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。	
					・建物が老朽化しているため、危険のないようにこまめに修繕している。また、雨天時は雨漏りがするため、被害が拡大しないよう、その都度対応している。園庭及び園舎周辺の草刈り・樹木の剪定や害虫駆除をこまめに行っている。園舎前駐車場のアスファルトの剥がれや凹凸があるので、危険のないよう保護者の駐車時には職員が誘導している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する(期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・多治見市社会福祉協議会文書管理規定により、管理・保管。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	12点
					・空調の設定温度を適正なものとし、(28℃)利用者にも協力を呼び掛けている。利用者・職員不在の部屋の消灯を徹底。 ・パソコンは使用時のみ電源を入れる。 ・行事等で食べ物を提供する場合は極力容器等を必要としないものや、あるいは使用数が少なくなるようなものにして廃棄物の抑制に努めている。	期待以上 3点	適正に実施されている。 エコオフィスのみならず、事業の中で箸や皿の持参を利用者に協力を求める廃棄物抑制の姿勢は評価できる。	
					・保育園の跡地の為、全面的に整備されているとは言えないが、利用において不都合が生じないよう配慮・介助を心がけている。	期待以上 3点	適正に実施されている。 老朽化によりバリアフリーが不十分な施設で、障がい児に事故がないよう配慮しながら療育に努めている姿勢は評価できる。	
					・備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーにて適正に管理。破損備品は、報告の上廃棄処分。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
					・個人情報や台帳は鍵付きロッカー・キャビネット収納 ・暗証番号でUSB保管 ・USB・個人ケースファイル等個人情報は、施設外持ち出し禁止	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		⑥事故等への対応		0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	・事故なし	事故なし・対応に不備なし 0点	事故なし

評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、 105%以上:5点、105%未満 ～100%:4点、100%未満:3 点	・51,423,450(収入)÷62,320,965(支出)≒82.5%		100%未 満 3点	収支率が低い、非常勤を常勤に配置変更したことによるも のであり、やむを得ないものと評価。		3点
4	より良い 施設運営 のための 取組 (30点)	(1)市民・利 用者の声の 反映 (15点)	①ニーズの把 握・事業への反 映	10	期待以上:10～8点、適正(普 通):7～5点、不備あり:4～1 点	・保護者と担当との個別面談(1回/半年)、グループ懇談及びアンケート(2 回/年)や日常的な会話から保護者の要望等を把握し、職員内で検討、共 通理解し、必要に応じた改善で保護者の理解・協力を図っている。保護者 アンケートからの質問や疑問に関しては文書で回答した。 ・希望される方には管理者面談を実施。事業の利用に関わる事(子どもの 成長の見通しが知りたい、療育終了の目安やその手続き・流れについて知 りたい等)について個別に対応した。		期待以 上 8点	適宜アンケートを実施し利用者の意見を聞く機会を設け、事 業に反映させることができている。		8点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通): 4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	・1件(発達支援センター利用終了にあたり、その流れや手続きについて保 護者のへの説明が不十分であったと子ども支援課へ訴えがあった。子ども 支援課と連携をとりながら対応した。)		苦情な し・適正 (普通) 4 点	事案が1件あるが、担当課と連携し適切に対応できている。		4点
		(2)より良い施設運営・事業実 施のための提案・姿勢、上記 1～3の評価に反映されない その他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポ イント(アピール)が 期待以上:15～12点、適正 (普通):11～9点、普通未満 ～物足りない:8～0点	・H26年度よりプログラムを変更。療育の対象となった場合には、すぐに受け 入れ、早期からの療育支援につながるよう図ると共に、待機児童をなくし た。 ・H30年度より保育所等訪問支援事業を開始。支援の必要なお子さんも他 児と一緒に地域で育ち合っていけるよう、アウトリーチ支援を重点的に行っ ている。 ・地域のまつりに参加したり、施設を拠点とした地域交流事業を行い、地域 住民に福祉施設に対して理解と協力を得られるよう、積極的な交流を図っ ている。		期待以 上 15点	早期からの療育支援を図る体制を継続している。 30年度より保育所等訪問支援事業を開始し充実した支援に 取り組んでいる。 言葉の指導において常勤職員を配置し、支援を更に充実させ ており評価できる。		15点
5	その他 (減点方 式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じ て減点対象とする(遅れ・不 備内容の程度により△1～△ 3点) 一部遅れ・不備あり(軽微): △1、一部遅れ・不備あり(中 程度):△2、一部遅れ・不備 あり(それ以下):△3	・提出書類の遅れなし		遅れ・不 備なし 減点なし	適正に実施されている。		0点
		(2)市からの指示等への対応 (報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減 点対象とする(対応等の内容 により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待ど おり:減点なし、対応等が期 待以下(軽微):△1、対応等が 期待以下(中程度):△2、対応 等が期待以下(それ以下):△ 3	・指示等はなし		指示等 なし・対 応等が 期待ど おり 減点 なし	適正に実施されている。		0点
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下						88点
									全体として仕様書の事業が適切に実施されているほか、医療 分野での専門的な指導の機会や地域との交流の機会を設け て、施設や事業の充実を図っている。 30年度も高いレベルで支援が行われており、高く評価するも の。		極めて良 好